

富士見丘小学校

F . G . S . t 構想

昭島市の「GIGA スクール構想」により、1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークが整備され、ICT 環境が劇的に変化しました。本校では、これを **ふじみ GIGA スクール スマート ツール** と名付け、令和2年度から整備を進めてきた大型TV、実物投影機、デジタル教科書、教員用 iPad などとともに、有効活用を図っています。

S スマート Smart City Smart Learning

Smart とは、スマートシティのイメージですが、直訳すると、「賢い」「機敏」「小気味よい」「小粋」などなどの意味があります。

t ツール 構想 tool vision

tool とは、「道具」という意味です。ICT 機器は、魔法の箱ではありません。何かを成し遂げるために使う **便利な「道具」** です。

【 Smart tool の使い方】

先生は、**“賢い教具”**として、指導に活用します。
子供たちは、**“賢い文房具”**として、学習に役立てます。

道具は、「**どう使うか**」「**どう使えるか**」がすべてです。例えば料理人は、自分で納得のいく包丁を選び、自分で研ぎ、腕を磨き続けて、最高の料理に挑みます。それが Smart tool 構想のイメージです。

本校では、目標の達成に向けたロードマップ、具体的な活用方法、様々な留意点等を一冊にまとめた **「教育の情報化ガイドブック」**を作成し、本校のビジョンを明確に示しました。

このガイドブックは、日々の教育実践を通して、様々な課題を解決していきながら随時更新(最終稿は1年の予定)していきます。現在進行中の実践事例等も多数掲載しています。

21 世紀にふさわしい学びのイノベーションの実現

次ページに、現在、そして近い未来の姿をまとめました。Smart tool を最大限に生かし、学校と家庭が一体となって、シームレスに学びや生活がつながります。「一斉指導による学び」「一人一人応じた学び」「教え合い学び合う協働的な学び」を推進し、子供たちが主体的に学習する「新たな学び」を創造してまいります。



1人1台端末と高速通信回線により、時間的・空間的制約を超え、双方向性が担保されることで、学校と家庭が円滑につながり、学びの連続性、生活の連続性が保障されます。FGSt構想は、子供たちが主体的に学習する「新たな学び」を創造します。

えいごであそぼう



R2. 5. 17-

ZOOMを使って、毎週日曜、本校OGの大学生と3・4年生の希望者が、やさしい英会話を楽しんでいます。

家庭deくじらーニング



R3. 5. 26

くじらーニングは、授業の内容を放課後や家庭でも、連続して活用することができ、学びの連続性が生まれています。

オンライン学校公開



R2. 10. 7-

ZOOMを使って、学校と家庭をオンラインで結び、日常の授業や道徳公開、学校行事の様子を随時配信しています。

Fujimi Art Galley Web



R3. 4. 26-

Google Photosを使って、自分で撮影した作品をクラウドに保存し、互いに学び合う教材とともに、ご家庭でも閲覧できます。

アンラグドプログラミング



R3. 2. 16

身近な物事をテーマに、順序立てて考えたり、考えていることを可視化したり、物事を論理的に考える学習をします。

ビジュアルプログラミング



R2. 12. 14

ScratchやVISCUITの言語を使って、プロセスを組み合わせて動かす過程で、論理的思考や課題解決能力を育成します。

ストップモーション動画



R2. 12. 9

パソコンクラブでは、プログラミングの他に、様々なアプリや動画を参考に、創造力を働かせながら楽しんでいます。

フィジカルプログラミング



R2. 12. 8

組み立てたロボットに、プログラミングで命令を出し、目的に応じた一連の動きをさせ、よい社会づくりに生かします。

言語能力と同様、「学習の基盤となる資質・能力」である情報活用能力を育成し、ICT機器を「Smart tool(賢い道具)」として使いこなして、各教科の学びを深めます。プログラミング教育では、プログラミング的思考を育成し、論理的な思考力を向上させます。

教員研修の充実



R2. 7. 30

教育の情報化に向けて、ICTを活用した教員の指導力向上とともに効果的な教材開発や学習履歴の活用、指導体制を充実させています。

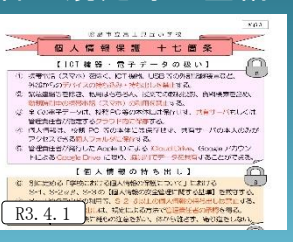
校務の情報化推進



R3. 4. 12

校務用PC、学習用TB、多目的iPadと、3種類の端末を使いこなして、情報の共有・一元化等、効率化を図っています。

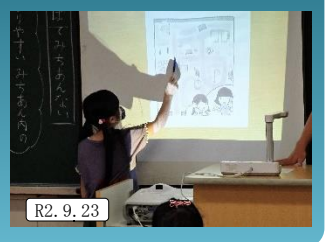
管理規定等の整備



R3. 4. 1

情報発信や個人情報の保護、管理・運用方針、児童の健康に関する留意事項等、校内規定を定め、法令等を遵守しています。

ICT環境の整備



R2. 9. 23

1年前はブラウン管TVが全教室に鎮座。大型TV、OHV、児童用端末、教員用iPad、高速通信回線、デジタル教科書等、急遽に整備しています。

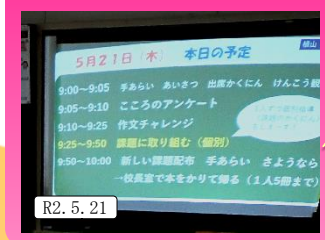
情報の発信・受信



R2. 4. 1

学校HPやマチコミによる情報発信、メールによる欠席連絡やアンケート、オンラインにより双方向のコミュニケーションが実現。

電子掲示板



R2. 5. 21

GIGAスクールに登校した子供たちは、大型TVで1日の予定を確認し、自分のタブレットで課題を受け取ったり、提出したりします。

登校前に、家から出欠連絡と健康記録・宿題等を提出します。登校したら、電子掲示板で今日の予定や課題を確認します。1人1台のタブレットで、短作文のテーマやコグトレを受け取り、作文チャレンジノートを書いたり朝の読書をしたり、1日の始まり。

指導用デジタル教科書



R2. 12. 16

指導者用デジタル教科書を大型TVに映して、文章を内容のまとまりごとに色分けしたりして動画を再生したりできます。

大型TVと実物投影機



R2. 10. 1

大型TVと実物投影機を使って手元を拡大することで、子供たちの視線を上げ、焦点化・イメージ化させ、理解を深めています。

ふじみ GIGA スマート F スクール S ツール G 構想 V

Akishima City Fujimigaoka Elementary School

Global and Innovation Gateway for All

Smart City ** Smart Learning

tool vision (Teaching tools for teachers) (Stationery for children)

Since 2020

※ 現在、そして近い未来の学校の姿です。

言語能力と同様、「学習の基盤となる資質・能力」である情報活用能力を育成し、ICT機器を「Smart tool(賢い道具)」として使いこなして、各教科の学びを深めます。プログラミング教育では、プログラミング的思考を育成し、論理的な思考力を向上させます。

動きを比較する



R3. 5. 24

撮影した動画をすぐその場で再生。課題を明確化しながら練習しています。前回の動きと重ねたり、並べたりもできます。

クラウド観察記録



R3. 5. 18

Sky Menuを使って、画像や動画の記録・保護が容易となり、手書きのスケッチと併用することにより、学びが一層深まります。

ポジショニング



R3. 5. 26

ポジショニングを使って、自分の思考を言葉で表現するとともに2次元グラフで可視化し、活発に意見交流しています。

思考を共有する



R2. 11. 5

プロジェクターにノート等を投影。自分の考えや意見を発表し学び合うことで、思考力、判断力、表現力等を育成しています。

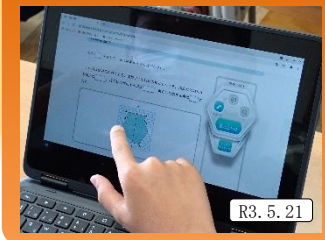
コグトレ



R3. 5. 13

紙と鉛筆の代わりに、タブレットを活用して様々なコグトレをしています。写真の例は、形状や位置関係を把握するトレーニングです。

授業deくじらーニング



R3. 5. 21

1人1台になったことにより、学習履歴型ドリルコンテンツを使って、習熟の状況を確認しながら授業でも活用しています。

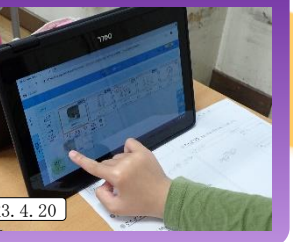
発表ノートを出す



R3. 4. 20

発表ノートで課題の配布や提出ができ、画面上に手書きで線や文字を書き込んだり、画像を貼り付けたり、多様な活用をしています。

情報モラル教育



R3. 5. 21

情報社会の一員として法の遵守や倫理とともに、ネット犯罪から身を守るなど、安全で適切な判断や行動が取れるようになります。

バーチャル社会科見学



R3. 5. 20

昭島の水道「ネットDE見学」を、各自で閲覧。調べたことを付箋にまとめ、整理することで互いの着眼点を共有しました。

考え議論する



R2. 9. 26

グループワークを活用し、複数の児童が同時に書き込めます。お互いの考えを共有して話し合う場が生まれます。

個別に動画視聴



R3. 5. 26

自分の課題や進度に合わせて、教材動画により、製作手順やポイント等を確認しながら、効果的に技能を習得しています。

児童用デジタル教科書



R3. 5. 21

1年生が児童用デジタル教科書(生活科)のページをめくったり、拡大したりしながら、興味深そうに閲覧していました。

授業では、先生がデジタル教科書や動画で分かりやすく説明。まずは、個に応じた課題や多様な資料を活用して、自力解決。SKYMENU CloudやG-Suiteを用いて、発表したり共有したり。複数の考えから議論、協働し、課題を解決していきます。